



第11回地質汚染調査浄化シンポジウム

—地質汚染科学と医療地質科学の狭間をみる—

単元調査法と有害地層・汚染地層の 簡易判別テクノロジー

日時:2007年6月24日(日) 10:00—16:00
場所:北トピア902会議室(JR東北線王子駅そば)
参加費:3,000円(会員*)、4,000円(非会員)
*主催団体・協賛団体会員
定員:50名(定員になり次第、締め切ります)
主催:内閣府認証特定非営利活動法人
日本地質汚染審査機構
共催:地質汚染—医療地質—社会地質学会
日本地質学会環境地質部会
IUGS-GEM, Japan Branch



趣旨説明

10:00—10:30 土壤汚染対策法調査では判別テクノロジーが不必要—土壤汚染対策法施行規則の誕生前後から—
日本地質汚染審査機構理事長 楡井 久 (地質汚染診断士・理学博士、茨城大学名誉教授)

講演

10:30—11:10 露頭で見られる人自不整合と汚染物質の挙動
千葉県環境研究センター地質環境研究室 風岡 修 (地質汚染診断士・理学博士)

11:10—11:50 東京低地における人自不整合の存在と砒素の分布
千葉県環境研究センター地質環境研究室 吉田 剛 (地質汚染診断士・博士(理学))

(紙上討論) 有害廃棄物処分地下の河川性堆積物に見られる人自不整合
日本地質汚染審査機構流動研究員 金城有吾・楡井 久

13:00—13:40 東京湾岸埋地における砒素汚染と砒素有害地層の判別
地質コンサルタント 成沢 昇 (地質汚染診断士)

13:40—14:20 大阪湾や周辺湖沼堆積物におけるセシウム・鉛年代および重金属濃度変化
—特に、人自不整合面の判別を検討してみる—
近畿大学工学部准教授 山崎秀夫 (理学博士)・
大阪市立大学大学院教授 吉川周作 (理学博士)

14:20—15:00 重金属簡易分析からみた判別簡易判断法
独立行政法人産業技術総合研究所主任研究員 丸茂克美 (理学博士)

15:10—16:00 総合討論
司会:上砂正一 (地質汚染診断士・技術士)・楠田 隆 (地質汚染診断士)

申し込み:日本地質汚染審査機構事務局まで
TEL 043-213-8507 FAX 043-213-8508
E-mail npo-geopol@nifty.com